

生活指導だより

宮田っ子

氷見市立宮田小学校
令和3年1月12日

NO. 5

1・2・3月の生活目標

感謝の気持ちを 言葉や態度で表そう

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

1・2・3月の生活目標は、「感謝の気持ちを言葉や態度で表そう」です。

お世話になった地域の方々、先生方、上級生、友達、給食センターの皆さん、家族等、子供たちは多くの方々のおかげで学校生活を送っています。そのような方の存在に気づき、感謝の気持ちを言葉や態度で相手に伝えることが必要です。

言葉で「ありがとう」と伝えるのも、その方法の一つ

「ありがとう」と言葉で表すと感謝が相手に伝わります。

言葉にしなくても、言わなくても分かってくれる、そう思うこともあるかもしれません。ときには「ありがとう」と言葉にするのが恥ずかしいかもしれません。しかし「ありがとう」と言われて嫌な人はほとんどいないでしょう。一言、「ありがとう」と伝えてみましょう。



感謝の気持ちを態度で表すともっと伝わる

感謝の気持ちを言葉で表すとともに、態度で表すともっと伝わります。

例えば相手が助言をしてくれた場合です。感謝の気持ちを態度（行動）で表すと相手の助言を受け入れたことが言葉よりも伝わります。

サポートや助言をもらったら「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉で表し、そして行動（態度）に移します。「〇〇さんの助言によって、練習したらできるようになった」と、その結果を相手に報告します。相手に報告まですると、感謝の気持ちを言葉で表すよりも強く伝わります。自分が感謝していることや信頼していることを相手に伝えることでしょ

う。
感謝の気持ちを表す魔法の言葉が「ありがとう」です。思っているだけではなく、言葉や態度で表すことが重要です。ぜひ、家庭の中でも「ありがとう」という言葉を使ってみてください。